



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

決勝レポート

2022/10/30 Rd-10 鈴鹿サーキット

天候：晴れ 気温：21℃ 出走台数：21 台

観客数：29 日(土)6,800 人 30 日(日)10,000 人 合計 16,800 人

土曜日に Rd9、日曜日に Rd10、の 2 レース制で開催される最終第 7 大会 JAF グランプリ。秋晴れの中、2022 年シリーズ最終戦の決勝レースが開催された。

3 番手スタートの天津選手は、スタートで 1 台を抜き 2 番手で 1 コーナーへ。牧野選手はポジションを一つ落としてしまう。

その直後、1 コーナーで 1 台がコースアウト。このクラッシュ車両回収のため、セーフティカー（以下 SC）が導入される。

レースは 3 周目に再開。しっかりとリスタートを決めた天津選手は、セカンドベストタイムとなる 41 秒台のラップタイムを記録しながら先行する野尻選手を追うが、その差は詰まらない。

膠着状態のまま、10 周目にピットストップウィンドウが開くと、チームはまず牧野選手をピットに呼び、翌 11 周目に天津選手をピットへ。チームはミスなく 2 台をコースに戻した。その直後の 13 周目に、シケインでクラッシュが発生。2 度目の SC 導入のタイミングで、ステイアウト組が一斉にピットイン。

首位を走る野尻選手をアンダーカットすべく SC ラインまでプッシュした天津選手だったが、これには間に合わず 2 番手。牧野選手は 10 番手走行。

18 周目にリスタートすると、天津選手は 40 秒台のペースで首位を追うが差は縮まらない。

中断の激しい争いを繰広げる牧野選手は、20 周目にひとつポジションを上げ 9 番手に。さらに順位を上げるべく先行車をプッシュ。27 周目にはシケインでオーバーテイクを仕掛けるが叶わず。

最終ラップまで渾身の走りで前を追う 2 台だったが、天津選手は今季初表彰台となる 2 位。牧野選手は 9 位で最終戦を終えた。



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

5 : 牧野任祐 9 位 2022 年ドライバーランキング 5 位

第 1 予選で首位となっても、第 2 予選でタイムの上げ幅が少なく中団スタートとなってしまう今回の 2 連戦。予選で沈むと決勝のペースがよくてもなかなか抜けないですし、そもそも今日のレースペースはあまりよくなくて、厳しくもどかしいレースでした。今シーズン、右肩上がりに速さはついてきたと思いますが、その中でもう一押しが発揮できず、多くの課題を残すシーズンになりました。

もっともっと上の次元を目指すべく、課題に向き合って来シーズンに臨みます。

6 : 大津弘樹選手 2 位 2022 年ドライバーランキング 9 位

集中して臨んだスタートでは 1 台をパスし 2 番手に上がることが出来ました。そこから野尻選手を追いましたが、序盤は全く歯が立たず、2 度目の SC 導入時にチャンスがありましたがそれも叶いませんでした。

優勝には届きませんでしたが、今シーズン初表彰台を獲得できました。

苦戦が続く今シーズン、最高の環境を準備してくれたチーム、サポート下さった協賛企業の皆様、ファンの皆様の応援に、最後に少しでも応えられたかなと思います。

また来年、さらに速く、強くなれるように、精いっぱい頑張りたいと思います。